

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第40回 CPD 講演会（九州本部 CPD・建設系 CPD 登録済）

(1) 13:30~15:00 (A-1-4) 九州本部 2311052801A14

『技術は人間を救えるか？』

マレーシアパームオイル産業と自然環境の共存を考える』

白井 義人 氏（国立大学法人九州工業大学名誉教授・農学博士）

(2) 15:15~16:45 (A-1-1) 九州本部 2311052802A11

『鹿児島の地質学的成り立ち』

北村 有迅 氏（鹿児島大学学術研究院理工学領域理学系助教・博士（理学））

日時：2023年11月5日（日） 13:30~16:45（途中休憩15分）

会場：かごしま県民交流センター大研修室1（3F）

会費：日本技術士会会員 1,000円

非会員 1,500円

大学生・高専課程生 無料

CPD単位：3単位

定員：80名（先着順）

10名（オンライン：鹿児島市以外の在住会員）

【参加者条件】

- ① 事前予約者のみ参加できます。
- ② 講演中のマスク着用は任意（個人の判断）です。

申し込み締め切り 10月27日（金）正午

* 申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

* 参加確定者には、10月31日（火）に参加案内及び注意事項を配信します。

オンライン配信の予定ですが、都合により中止する場合があります。

オンライン参加者には、同日に別途メールにて送金口座を通知します。

オンライン参加者の参加費は、11月2日までに入金願います。

入金確認後、接続コードをメール配信します。

【第40回 CPD 講演会等申込み先】

鹿児島県支部 HP、下記 URL、または

右記 QR コードから申し込んでください。

<https://forms.gle/A5Q6J4HBsyvc5Wj7>



講演概要

■講演 (1)

講演タイトル：『技術は人間を救えるか？』

マレーシアパームオイル産業と自然環境の共存を考える』

講師：白井 義人 氏（国立大学法人九州工業大学名誉教授・農学博士）

講演概要

我々人類は、将来に渡って持続可能な資源とエネルギーの獲得を考える必要がある。100年前と比較して現在の平均寿命や生活レベルの高さを考えた時、その大きな貢献の多くは石油、石炭、天然ガス等、化石資源の利用により、それ以前の人類と我々とは、比較にならない利便性と安全性が担保された社会をつくることができたと思う。しかし、その一方、化石資源は、まず、今のままでは100年ももたないのでは？と大変心配になるし、炭酸ガスが必然的に排出され、地球温暖化を促進するため、天災の頻発が憂えられる。持続可能で、さらに、これまで得られた優れた技術を十分に改良し、将来的にも安全で健康で、愉快的な社会が続くことを真に願う。今回は、(私自身そう信じる) 持続可能な農工産業であるパームオイル産業を題材にして、自然に存在する資源であるバイオマスを賢く利用することにより、持続可能で、経済の活性化にもつながり、世界の中で未だ貧しい人たちが豊かになれる方向性を示し、「金持ち喧嘩せず」と言われるように、争いや諍いが無い社会になる方向性を考えたいと思う。

■講演 (2)

講演タイトル：『鹿児島県の地質学的成り立ち』

講師：北村 有迅 氏（鹿児島大学学術研究院理工学領域理学系・助教・博士（理学））

講演概要

日本列島は複数のプレートが接する境界部に位置しており地殻活動が極めて活発であるため、社会基盤インフラを構築する上で、地質学的な地域性を理解することが重要である。地質学では、野外調査および物質科学的なアプローチを用いて地域に分布する岩石の種類や物理化学的性質を明らかにして、地域から得られる天然資源の探索、構造物の基礎を支える地盤の物性の理解、地震や火山等の地質災害の予測や対策などに関する知の集積を行っている。鹿児島県には、付加体、火山、鉱物資源、化石など幅広い地質学的要素が存在し、日本列島が置かれている沈み込み帯の縮図となっている。